

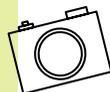
広報レポーターが気づいたまちの魅力

住みよさ実感

いんば障害者相談センター
～障害のある人と家族の身近な相談窓口～



広報レポーター
山田一夫(木刈)



障がい者(児)の総合相談窓口があると知り、岩戸の「いんば障害者相談センター」に伺いました。ここでは、市内に住む障がいのある人とその家族からの相談を受け付けています。管理者の佐藤美代子さんに話を聞きました。

相談は、まずは電話やメールで、悩み・不安・疑問を受け、その解決方法の提案や手伝いをします。必要に応じて来所していただいたり、自宅や病院などに直接伺ったりし、将来を想定したケアプランを一緒に考え、福祉サービスの体験利用などを勧めます。具体的には、本人や家族の選択に基づき、保険、医療、福祉、就労支援、教育、療育サービスなどを紹介し、適切に提供されるよう調整、配慮します。佐藤さんによると、一番多い相談は生活基盤関連で、収入や住宅の支援に関することだそうです。



▲施設の外観

まずは電話かメールで相談を



「支援することで、その人の人生が大きく変化することがあります。例えば、グループホームで暮らすようになったり、作業所で働くようになったり、年金がもらえるようになったりします。喜んでいただいたときは、私たちもうれしく感じます。皆さんが不安なく生活ができるお手伝いができればと思っています」と佐藤さん。秘密の厳守はもちろん、相談は無料なので、決して一人で悩まず、まずは気軽に相談してみてください。

☎いんば障害者相談センター ☎99-2501
✉soudan@inba-g.or.jp (岩戸1343-1)

今年度の各月の
レポートはこちら▶

